

第 122 号

[illegible][illegible]

国交省の空港支援を活かそう—

～日本港灣振興団体連合会会長(新潟市長)篠田 昭～

●北海道産品の輸出拡大に向け官民連携

(北海道開発局 港湾空港部)

(苦小牧港管理組合 総務部 港灣振興室 港灣振興課)

(稚内市 建設産業部 物流港湾課)

(東北地方整備局 青森港湾事務所)

～翌日は「につぽん丸」も 連日の客船寄港も初～

(石巻市 建設部河川港灣室)

(近畿地方整備局 港湾空港部)

(九州地方整備局 長崎港湾・空港整備事務所)

◇産官学連携で大阪湾全域の水質一斉調査を実施

1 ポートエッセイ

国交省の空港支援を活かそう—

[illegible]

この支援策を有効活用し、新たな路線の開設やチャーター便の増加に結び付け、広域観光ルートの確立を図りたい。そのことで2020年の東京オリンピック・パラリンピックで日本を訪れる外国人の滞在拠点

[illegible][illegible]

(北海道開発局 港湾空港部)

今後は、道の駅やみなとオアシスにおける「海外おみやげ宅配便」の導入や、北海道産品の海上小口混載コンテナ輸出等を始めとした、各種取組を連携して進めて参ります。



The diagram illustrates the flow of information and funds between three main entities: **北海道** (Hokkaido), **海外** (Overseas), and the **北海道国際流通機構** (Hokkaido International Circulation Mechanism).

北海道 (Hokkaido):

- 企業会員 (Corporate Members):** Pay an **年会費 (Annual Fee)** of 100,000 yen (100,000 yen for 100,000 yen of goods registration) and provide a **商品リスト (Product List)**.
- 地元企業 (Local Companies):** Receive **海外ニーズ イベント情報 (Overseas Needs Event Information)**.
- 自治体会員 (Municipal Members):** Pay a **年会費 (Annual Fee)** of 50,000 yen and receive **海外ニーズ イベント情報 (Overseas Needs Event Information)**.

海外 (Overseas):

- 【海外展開国】 (Overseas Expansion Countries):** Includes Hong Kong, Taiwan, Singapore, Vietnam, Malaysia, Indonesia, Thailand, and China (Shanghai).
- 基金 (Fund):** Provides **資金 (Capital)** (investment) to the **北海道国際流通機構** for **経営に参加 (Participation in Management)**.
- 海外ニーズ イベント情報 (Overseas Needs Event Information):** Flows from the Overseas section to the Hokkaido International Circulation Mechanism.

北海道国際流通機構 (Hokkaido International Circulation Mechanism):

- Acts as the central hub, receiving information and funds from Hokkaido and Overseas, and distributing information to local companies and municipal members.

流通機構の仕組み

●道内初！LNG基地開発のため北極海航路を航行するモジュール船が苫小牧港へ寄港

(苫小牧港管理組合 総務部 港湾振興室 港湾振興課)

北極圏のロシア・ヤマル半島のLNG基地に北極海航路を利用し資材等を運搬するモジュール船ビッグロール・ビューフォート(23,143t)が、北極海航路航行に必要な砕氷船との時間調整及び苫小牧港関係者等との意見交換のため、平成29年6月26日(月)に苫小牧港へ寄港しました。北極海航路を運航する貨物船の道内への寄港は初めてであり、これに合わせ、北海道開発局と連携し、関係者による歓迎式典及び講演会を開催しました。

歓迎式典では、地元の港湾関係者をはじめ荷主、船会社などの関係者が出席し、岩倉苫小牧市長からの歓迎の挨拶や、同市長と船社側との贈呈品の交換が行われました。

また、講演会では、船社のビッグロール SHIPPING のバウケ氏による船舶の紹介、基地開発に携わる日揮株式会社の植木氏より、北海道の港湾での寄港の可能性などのご講演をいただいた後、活発な意見交換がなされました。



初入港したモジュール船
の接岸の様子



歓迎式典の様子
パトリック・マーティン船長(左)
と岩倉博文市長(右)



講演会の様子

●稚内市は港湾協力団体を指定しました

(稚内市 建設産業部 物流港湾課)

この度、稚内市では、港湾協力団体として「稚内のみなとを考える女性ネットワーク」と「稚内地元愛育成協議会」の2団体を6月23日に指定し、稚内市役所内で指定証の手交式を執り行いました。

今回指定された団体は、みなとオアシスを構成する北防波堤ドームなどでのイベントや各種活動に取り組み、みなとオアシス運営にも携わっています。

女性ネットワーク代表の岩本氏は「これまでの活動が認められたことはメンバーの励みになり、今後の活動も積極的に実施していきたい」とコメントされました。

また、協議会会長の久手氏は「来年は稚内港開港70周年を迎えるので、これからも稚内港を盛り上げる活動をどんどん続けていきたい」とコメントされました。



手交状況（左：工藤稚内市長
中：久手会長 右：岩本代表）



稚内副港ボートレース



WAKKANAI みなとコンサート
(北防波堤ドーム)

●青森ウォーターフロント活性化協議会が港湾協力団体に指定されました

(東北地方整備局 青森港湾事務所)

6月20日(火)、青森県が港湾法に基づく港湾協力団体として、「青森ウォーターフロント活性化協議会(愛称:AWFRO)」を指定しました。東北では初の指定となります。

浅利県土整備部長より「港湾協力団体指定証」が交付された細川英邦会長は、「青森は街と海が近く、その中間にあるウォーターフロントに人が集まってくる。もっともっと賑やかなことを仕掛けたい。」と今後の抱負について述べられました。

同協議会は、青森ウォーターフロントを盛り上げるべく、協議会の愛称にちなんだアフロのカツラがたすきの「アフロリレーマラソン」や冬にふんどし姿で綱引きをする「もつけ祭り」など、ユニークで独創的なイベントを多数開催し、多くの市民、来訪者を楽しませています。

また、「みなとオアシスあおもり」の設置・運営者としての活動も行っており、青森港における賑わいづくりの中核を担う団体として、今後ますますの活躍が期待されます。

※港湾協力団体

官民連携による港湾の管理等を促進するため、港湾の管理等を適正かつ確実に行うことができる法人その他の団体等で港湾管理者が指定するもの。



指定証を交付された細川会長(右)



アフロマラソンはウォーターフロントを疾走



もつけ祭り開会式の様子

●「飛鳥Ⅱ」が仙台塩釜港石巻港区に初寄港

～翌日は「にっぽん丸」も 連日の客船寄港も初～

(石巻市 建設部河川港湾室)

平成 29 年 6 月 10 日(土)、念願だった「飛鳥Ⅱ」が石巻港区に初寄港しました。当日は濃霧のため 30 分遅れての入港となりましたが、多くの市民の皆様でお出迎えしました。(姿が中々見えず関係者はやきもきでした。)

天候の都合で出港が 2 時間早くなり、急遽中止となるオプションツアーもありましたが、陸上ブースでは石巻地域の地場産品をお土産に購入する乗船客で賑わいました。また、地元のお囃子(河南鹿嶋ばやし)が雨の中で熱演され、デッキで観覧された乗船客の皆様から大きな拍手をいただきました。

出港時は地元笑遊会による宮城県の民俗芸能“はねこ踊り”も披露され、多くの市民の皆様と再会を約束してのお見送りとなりました。

翌日には 2 年ぶりに「にっぽん丸」が寄港し、こちらは天候にも恵まれ、乗船客は女川や東松島などのツアーに出かけられ、石巻周辺の食や観光を満喫されました。出港セレモニーでは松島高校ダンス部の演技で乗船客を魅了し、風で紙テープがたなびく中、再会を約束してお見送りとなりました。



大忙しの陸上ブース



かなんかしま
雨の中で河南鹿嶋ばやし



松島高校のエネルギッシュなダンス！



風に舞う紙テープでお見送り

●第6回深日港フェスティバルが開催されました！！

(近畿地方整備局 港湾空港部)

深日港周辺の賑わいの創出、深日港から洲本港を結ぶ航路復活の機運醸成を図るため、第6回深日港フェスティバルが、平成29年6月25日(日)に開催されました。

このイベントは、岬町と地域団体からなる「深日港活性化イベント実行委員会」が主催、国土交通省近畿地方整備局や近畿運輸局、大阪府などの後援により開催されたものです。

当日はあいにくの雨天となり、予定されていたステージイベントが中止となってしまいましたが、泉州地域、淡路島や和歌山の特産品を販売する店舗の出店や、国土交通省近畿地方整備局や陸上自衛隊、大阪府港湾局などのブース出展もあり、約2,000人もの来場者が訪れ、たいへん賑わっていました。

また海上では、深日港から洲本港までの定期航路再開に向けた旅客船の社会実験運航(9月下旬まで毎日運航)のほか、うずしお観光船日本丸によるミニクルーズ、国土交通省近畿地方整備局の海洋環境船海和歌丸などの見学会が開催されました。



岬町長あいさつ



賑わう各ブース



「海和歌丸」一般公開



社会実験運行「日本丸」ミニクルーズ

●「ノルウェー جان・ジョイ」が長崎港に初寄港！

(九州地方整備局 長崎港湾・空港整備事務所)

6月25日、米国のノルウェー・ジャンクルーズライン社が運航する「ノルウェー・ジャン・ジョイ」(総トン数167,800ト、全長333.5m)が長崎港に初寄港しました。朝8時に松が枝国際観光船ターミナルに接岸した「ノルウェー・ジャン・ジョイ」には乗客約2,600人が乗船しており、当日は生憎の雨となりましたが、多くの方が長崎の街を楽しまれていました。

なお、今回が初寄港のため長崎港クルーズ客船受入委員会主催の歓迎式が行われたほか、入港時にはちんどん芸によるお出迎え、出港時には長崎市立山里中学校の生徒による吹奏楽演奏が行われており、素晴らしい演奏と市民の見送りに乗客・乗員からは惜しめない歓声と拍手が送られていました。



受入委員会の濱田課長による記念品贈呈



長崎港湾・空港整備事務所の温品所長による記念品贈



演奏を楽しむ乗客、中には歌ったり踊ったりする方も



雨が降る中、最後まで多くの方が見送られていました

3 お知らせ

◇産官学連携で大阪湾全域の水質一斉調査を実施

～8月1日に「第14回 大阪湾再生水質一斉調査」実施～

開催日時:平成29年8月1日(火)

開催場所:大阪湾およびその集水域(約540地点)

概要：一年のうちで最も水質汚濁が懸念される夏場に、国・自治体・研究機関・企業・学校など産官学が連携し、大阪湾およびその集水域で一斉に水質調査を実施します。

問合せ先:近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所 TEL078-331-0058

Web ページ: <http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/life/>

(大阪湾生き物一斉調査情報公開サイトホームページ)

日本港灣振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL:03-5776-0630

FAX: 03-5776-0631

e-mail: bcf06323@nifty.com

[illegible]